五日郵政接收以米郵便は替事満洲國では大同元年七月二十 元年に比し百五十四割の増加

増收率指数に依つて見れば、 を示してゐる、即ち之を月別 九千餘口、金額百十四萬八千に終ける受拂口数は月別三萬に終ける受拂口数は月別三萬 際圓で取扱口数に於て百四十 於ける國内那便爲替受拂口歌 1月別二千八百餘口、金額七 第一千六百餘圓で之を大同元 日数六千七百餘回で。金額十四 日数六千七百餘日、金額十四 て世六削八分。 金額に於て世 五萬餘圓に比すれば口歌に於 郵便料値上げ 年度に於ても實現は困難 大翻進版ので、玆にも日浦経を一九三一年の取扱仲敷に比すれば、口敷に於て百七十三側の削、金領に於て百七十三側の

不可能さして反對意見を有しなく。大観省さも何馨政治的 言葉の誤のではないかご云ひ大椅次官は高橋顧相の首明は 省では具体的に考慮したこさ、が退信 上問題は高橋蔵州の首明以上の東京二日登蔵通り郵便料 よの今回土木業の各乗項に亘 防並に過家及び地方財政に循 策に入る筈である によつて都曾を開き具體的方り消路。何川。港灣の各部門 立したい意味の挨拶あつて後的見地より権威ある動策を樹 籍事規則を決定したがこれよ り統制連絡の関査をなし綜合

破綻に瀕 する

時任の途に就く事を確言した 「上海二8種で通」駐日及使 蔣作賓は來る七日上海出種の 財品及使

聯盟保健

政府の収入二億元増収の目的 根鍵さして他の商品に對し給 別上案を提出したま言はれて るる **鼠保健部委員アンドリア、** (ジュチーヴー日辞國通) 博士渡支

を映画滑さなつたもので民衆 生活の安定しつつあるを物語 つて居る

直しを行は凶以上必要を翻

わだらうご明られて居る

でで破綻しまうを開境に陥っ に終ける共脈討伐費の捻出な に終ける共脈討伐費の捻出な に終ける共脈討伐費の捻出な

九年度に於ても賢現る

世知歌れる必要なしきされ

南京政府財政

セント關稅引止計畫

し得る事になつてゐるが、適

替に就ては南京政府が全籍の中華民観戦局振出しの郵便高

何遠の擬出たるを問けず荀くては郵政事業の本質に鑑み其

▲ 備▼國内野島を排渡日に指

務省會顧室で初場會を開き組の根本的改革のため内務省にの根本的改革のため内務省に「日内

親祭順棒山愛輔伯の一行は二く東京二日砂國通り貴院隣条

端蒙視察の途に

替振出にかくるもので本年三郎とで居る。中華民能郵便貸

有效なものに限む排渡請求に

るるにも拘らず。 備州國に於

施設充實に努め大百餘の保省局長さして農村の全衆保

根本建直し

8年)各省さ民間展體に呼び 動者歌量やに就き詳細調査す 特狀况、評価生産の動力、勞 つちやあいけない。 う二十近くだったからね…… へえ…っそんなになるのかい 八か九になるんだよ **範近くになるが、その時も** さっだつて僕が知つて

「さうかなあっちょつとさうは見

『うん、しかし僕はあの認命つてい何うすることも出來まい』 てつの妙に冷たく情無いところが しかし君だつて運命の前に出た 『うん、芸報二十三だっていつてるかい』 7. いくら君

感命つてやつの歌に出ると珍なしてくだらんものさ。そんなものは はユュュュン、人間の意志なん 美一が整つたやりな語詞でさら でに僕の筋管通りに動かなけれ そんなことがあるものか、 ふと、大質はちよつと噂けるや ならなくなるに 極まつて ゐる 眼鏡の御用は 金華堂へ 函

あいつは

に笑ひながら、

大概略 五 管確實 流汽丸 健星·清津出帆 月]]日二變更天草丸





一隻減少

順)を減少してゐら 九月二十日現在

歡迎に

〇九、二九六石の増加。作付段別は三、二一〇、一〇三段で前甲に比し四五、三七八町かの減少である (東京一一日發的通) 養林省 米收豫想高 ピシニア移民獎勵に移民會吐培に廣大な土地を提供更にア を投立するに決したさ

經濟會議兩代表

土地三百萬エーカーを阿片栽 ア政府は日本移民歓迎さして紡への情報に低ればアビシニ

「東京二日發國通」確實なる

廣大な土地提供 アピシニア政府

南代表は二日午前十一時卅分よりの帰途にある石井、深井 所代表は二日年前十一時卅分 常地管の箱役丸で寄港した。

だ。一般の動日感情も非常によかつ スタム R

のため劇別保健専門家さして大洪水の霊時も公衆保健施設が1博士は一九三一年揚子江のため報子に決した。スタム

棉麥借數 あたから、

支那側は三井伊行に一手販賣機は三十日上海に到着したが を交渉して来たが同行ではそ 引受けを断つた為め張公司

今年

っまくは行かないから

30 P

さういふつもりでるてもさん

米、獨に倣ひ資本の結合さ遂。 地直しを要認されてゐるので 地直しを要認されてゐるので 氣運を促進 內閣統計局 を立て」をつて、 大質は馬鹿は 『はムムムム、馬鹿なことを

真んである。薬古人さい

さ花柳病を考へるが自分

見たさころで

はそれ程で

ったその様な花を一つつみ取って ったその様な花を一つつみ取って

超江省警備家及び省内治安 会員の旅行の目的は主に黒 今回の旅行の目的は主に黒

を見に來るらしいがま

質にも飛行機で行つたが。 無だから胆酸も少しは患る なしいが耐力さも新経紋の が光分類取された。 無だから肥酸を少しは患る

奥安省警備軍を觀察中であつ 智な及びプハト、ハイラルの約十日間の豫定で黒龍江省警

る。殊に黒뮅江省は地形の をない所だし様くこそ泥的 なものは出るが之まて講洲 なものは出るが之まて講洲

興安省視察から歸った

多田少將語る

然し黒河の本種に比し目

更に対日本郵便以替情

業計劃の如何は過民生活

連の協議に續いて。宋子女はる汪精備。宋子女。張科等巨明

てゐるが。仄聞するに之が

念雅さして今回の上海に於け

端葉視察の途に上つた

日午後九時四十五分東京師發

の基礎を属す

うに、といったが、不能気が使いを 常にく類の上を浮かべて、 しかし野は整整寺山来あの女に と大質は明るやうな海突ひを、 に続はれたやうに、別川の河岸の 大質はさら言つてから機器の際

で死者六名貨集者十四名を出 九日夜ハメナに於ける市街戦

一名の

うん、動はないのかつたと

やつとおれ郷に気が付い

商商店

高根 を碎 **魏無斷上映上演**

森派ペルトライン

声野町

(百三十二) 言葉には何處が寂しい響が続つてさら投げるやうにいった英一の で仕方がないよ

原本と相談のはだん この に一人のある砂壁の方へ近付いて来言 に一人のある砂壁の方へ近付いて来言 に一人のある砂壁の方へ近付いて来言 たが、しかしまだと」に二人のある たが、しかしまだと」に二人のある たが、しかしまだと」に二人のある たが、しかしまだと」に二人のある たっ横。他の地壁傾ひにこつちに たっ横。他の地壁傾ひにこつちに たっ横。他の地壁傾びにこつちに たっ横。他の地壁傾びにこつちに たっ横。他の地壁傾びにこつちに たっ横。他の地壁傾びにこつちに たっ横。他の地壁傾びにこつちに たっ横。他の地壁傾びにこつちに たっ横。他の地壁傾びにこつちに たっ横。他の地壁傾びにこつちに るらいとら見物であやう のたっが、大質はそんなことには 明はずに、。 は面白いぞのいよく、序幕だのななんだな、はメメメメストこい それがやあ今日曾ふのはあれ以

摘言するやうな調子でい 話しかけるといふよりは、むしろ 見下ろしてるたが、やがて英一に 「ふん、見たまへ、あの属子の姿 大貫は暫らくぢつと二人の方を 八の女が齎る があることを限まなくつても 登場しなければこの芝居は始め れないのだ」 いるや、駄目だよっいくら君が 僕が登場を肯じない るのだ」

になるか、ほんとの年を知つてゐ といつてから英一の方を散り向 るやうな脚子で しかし僕は君の筋鬱通りには配 とりでに郷底に出るやうなこと

造金 高價買入 横濱屋質店

東三条通三八派を館南隣 西田方山 尺八篇

新物いより

参九四四三路電

な

ぎ蒲焼

ŀ

すし竹食堂

帕班電話二七二四番

御待ち兼の

岩

ガルーの 神佛具 還花及生花 をは三 の八番 が京祝町二丁目 加藤葬儀社

の程願ひます 是非御用命 出揃ひました

(Manager of the control of the cont 本溪湖石炭滿鐵指定**販賣** 酉 泰山木局製材部 四馬 路

電話二一五六番 電 品 三 五 六 番 行 冬の 吳

上販賣致シマス

今冬流行の新柄 服 陳

吉理町二丁目 村岡吳服店 電話二十二四番 列

秀 治畵) 勇 電出り、丁目十四 富士リ、丁目十四 富士リ、丁目十四 部時女事務員 ※業町三丁目 水業町三丁目 日日案內

風分シ左記へ依り通び予制限ス 新京附屬地内道路了一般道路及特殊荷馬車道路ノ一種ニ新京附屬地内道路荷馬車通び取締規程

開誦洲體選株式會社

疊

新京地方事務所長 荒 太

芝生師 九電話四七八六番 九電話四七八六番

したつて君

洋帳簿金祖與本事門 京染洗張専門にしまやにしまや 三省堂製本所

新京警察署

P

美酒佳肴 電話二四九〇番

省生80尺式 观赏 海一報次易参上 海轉居先住宅の消毒 M 元 W C 並調阿

一、本取締二於テ特殊荷馬車を開スルの左記ノモノテ ・ 大部以外ノモノテ普通荷馬車 ・ 一、「独鬼以上ノ荷馬車 ・ 一、「独鬼以上ノ荷馬車 ・ 一、「独鬼以上ノ荷馬車 ・ 一、「独鬼以上ノ荷馬車 ・ 一、「独鬼以上ノ荷馬車 ・ 一、「一、本取締二於テ特殊荷馬車を開スルの左記ノモノテ ・ 一、「一、本取締二於テ特殊荷馬車を開スルの左記ノモノテ爾 上花國 吳產 鵜殿兄弟商會 都京祝町二丁目

和泉町但シ嵬城子街道暗切以西峨道線路ニ添フ新段道

綿布に於ては印度側観視

以て満足する以て満足する

最も年額十二億平方端ささられ渡し、又綿布の輸出数の改正前たる五割に引下け

ここは我方の反対する成で 役に對しても今次の書面に 役に對しても今次の書面に

一米四 一本の大陸政策を指表 なった日本の大陸政策を恐れる なった日本の海軍計畫は攻撃 の気でない。最近領る部骨を かった日本の大陸政策を恐れる

様な對日態度に常に油を注ぎつくあるのであるからして、 一百人さしては常住不断最悪の 場合に備へなくてはならぬ、 最れ即ち今回我廃軍が第二次 補充計費を樹てた所以である

に対し國同二十一名政友九名
改進の結果國民同志曾經教多
改進の結果國民同志曾經教多

各地市場

大

大阪株式

10310

R

日本 出來得る丈爾土を擴張し亞細亞の評判的 「日本 出來得る丈爾土を擴張し亞細亞の評判的 「日本 出來得る丈 「日本 出來得る丈 一日本 出來得る丈

ここを忘れてはならね さ葉略さが きばいまか

「東京二日 辞國 ※1 機村名面の緊急問題たる米價對策に動し政友會では政務調査幹部會開催の結果多數の意見は各種開催の結果多數の意見は各種開催の結果多數の意見は各種の表低米價を大体二十五圓以上に決すべきを期待するこ共

改選の結果

國同絕對多數

第二回

が、緒り間の斯様な態度は常い。

(日

認識せられ度く日本さしていて印度側に於て此事實を協切の推勢を持つ質易は逐年膨張の推勢をある。

水)

摩田代表は右昭上政府の訓令権でなる筋への情報に依れば

も出席異常な緊張を呈したか ムラ曾商は商務長官ポーア氏

虚を加へみであっう。これは出来を限り考しては出来を限り考しては出来を限り考しては出来を限り考しては出来を限り考していません。

右に傾し係科は語る

等が決定した日支外交對策

(東京二日發國迪) 州日のシ

重大提議を爲す

至つたのも全く財政行結りの は果で汪精衡が上海に来たのも永く滞つて居る政府職員の 権給護達が主な目的であるこ 云はれ昨日の宋子女私邸に於ける要人會職も全く之が對策

が成は重大な變更を受けるが成は重大な變更を受けるが成は重大な變更を受けるが北上で一掃され北支問題に履むと知れぬきの説は黄乳 今回の

澤田代表

同に終れば半累外交権乃至自

に基づき左の如き重大掃顔を

日米建艦

問

題

(下)

電光質を闘るのは管に無意味 に米詞が沿岸防御さ削して施 に米詞が沿岸防御さ削して施

人は新くすることが出来ない。吾

明四日は仲秋節につき派洲人職工慰安

で常地に到着した

事明瞭さなり前田は安田同様

出安高引

二一主二十現 月月月月月 限限限限限

全100

二一<u>二</u>二十段 月月月月份 限限限限

公公之公式宝

であるのみならず用詞民用互 の感じつもある恐怖心を徒ら に暴加させるに過ぎない」 き はない。一部分再人の

一大山地 でもあり、の進歩に貢献する所以でもあるさ考へて居ら如何なる障碍のあである、 吾人を以て観れば新様な種性な出本を疑つたけが終れたり配んだりする者のの過れたり配んだりする者のの過れたり配んだりする者のい理程諒解し継いものはなり

政友の

對米價對策

が一事に潰蔵。事件は最早一種烙が明瞭さなりその資金網に呼兵隊早兵資金の出た同時に呼兵隊早兵資金の出た

段落さなつた

刊致します

唯断つて置かなくてならわの

正しき認識を以て

誤解を一掃せよ

海軍大佐

要性を持つに止まらず、 売帝 総業協議會の負債状でも可き日印 はる日中語

世界の現職を集めてゐるが。世界の現職を集めてゐるが。

(シュラー日 後回通) 通収の(シュラー日 後回通) は全世界に直つて患よの権勢は全世界に直つて患より、 (シュラー日 後回通) 通収の

「上海」日録國連」南京政府 で上海」日録國連」南京政府 を講じて居るが、先日 年財政 は必死さなつて之が切抜け策 は必死さなつて之が切抜け策 は必死さなつて之が切抜け策 を講じて居るが、先日 年財政

目下政府は財政上非常に困 を感じてゐる昨日の宋子 女邸での會議も全く之が對 策協議の為だ。目下政府は 物一千萬元の軍政費の不足 を來してゐる。財政震局は を来してるる。財政震局は を来してるる。財政震局は を変して居るが之では毎月 多額の不足さなつて行くに

政治的意味を多分に包蔵

(=)

山度側我が要求を認めず 難關に逢着せ

度側が如何なる回答を貸し來 の第四回シムラ會商に於て印 「東京!!!日體調達」!!!日間量 るやに関し外務常島の観測は 且つ儘質な統制實行の保障額に依るこさ等を主張し、 十年の野印輸出数量平均年 税五割さの中間税率を提絡関税は現行七割五分さ

印棉不質の解決を要求し 肥彦に出るこさは想像し を促す方針に決定した

仲秋を如何

9

を卒直に認めぬ限り交渉は劈型に需要者の利害編係から割りを発見を強いるのでなく多年の友を発力を発見を顕しては外務常品は此間関にで自印解決を強要するを発れてものでなく多年の友で自印解決を強要する的は動した。 初民の感情が激なる保障を異へぬ限り需要者で自印解決を過要する的はずるのをという。

で五日神戸を川發することで五日神戸を川發することで五日神戸を川登は政府顧問職公開京初三氏に決定鹿島丸の東三郎。

五日神戸發

億八千萬元

下落損害七

帝大新法學部長

水先案内は

鹽の强制的

為長)二日午後七時三十分 ▲大塩鑑次耶氏(額東職餐務

場所。寛城子ポルド、ノーワ女史教師佛英學匹卒繁

ノーワ家

御相談の上

英、佛、露語教授

絹三代表 ムラ合磁の

安那小麥の

即電報を發したさ

る長女の間

居國

を模様である。

人事往來

野し綿麥の輸入延期及び明盤 で天津の商務會は南京政府に を那番の小麥の下落による損害は七億八千萬元に達する由 で大津の商務會は南京政府に

大學教授末弘博士は聴領博士 に代り法學部長を命ぜられ。 二二日付左の如く健令された 帝大教授男爵 穂積 重選 帝大教授男爵 穂積 重選

外國 船舶浦쮍入港に水先案内が去ら八月二十六日健表したが去ら八月二十六日健表した

海外經濟

▲銀塊及爲替

施設の爲か

同港の軍事

除外辨法を與へるやう更渉し しで来たのだから同地官憲に しで来たのだから同地官憲に

中國五全大會

一月に延期 減段割合 補償金額の質

界出方法等協議

しつつあるためご云はれて居場副は同港っに軍事施設をなりりで折衝を進めて居る。右

て居たが解決を見れためモス

アス米米米孟組同倫 オナチ支日英質育 選銀 村 ゴー 賃貸賃銀銀銀 ルルを替替塊塊限塊 が株

生徒募集廣告

先三二一<u></u> 土 土 岛 月月月月月 限限限限限限

民國世四年三月に延期した の外化移省提案の积買上貯蔵部で開食。減段案も二町増案の外化移省提案の不可機相官を減段案も二町増案の外化移出、減段案を二町増案の外化移省提案の限度を表示。

の支出減少を闘つたが之以中年人員の淘汰を行ひ政費 り関係書島の技術官、事務官 大なつた、よつて事務的折衝 大なつた、よつて事務的折衝 を一應中止し更に午後一時よ を一應中止し更に午後一時よ のみで會議を開き減段割合の 案につき意見の交換を行った

切扱けるか?

南京政府財政極度に行詰る

きに飲き綱目の協議を行つた 数字。補償金額の算出方法な 首相の悲観

制をなしてゐると、「東京二日韓明通」減段案に

切技策を講じたが之きて笛上の淘汰は出來ない情態に

少を聞る外無いさ思つて居 強は日下の端軍費の支出減 摩の切扱策で根本的財政整

黄郛の北平歸任で 此案は農業政策に影響する

南京政府の對支政策落着かん たライヒマン博士は二日正午 援助のため帰盟から派遣され ライヒマン來源

究所を設置 思想問題研

長、親學官、社會教育主事、 中心に學務部長、與務關係課 中心に學務部長、與務關係課 中心に學務部長、與問題研究所 を設置し、日本精神の最繁發 中心に學務部長、與問題研究所 高課長、檢察官等で組織する事、其他暴者、警察部長、特票校長、直轄県校原生生徒主 (東京三日は図鑑)シンパ事件で収容中の安田中佐は險事 ・ 本場供した事實を轄め、その ・ 全場供した事實を轄め、その ・ 全場供した事實を轄め、その ・ を相はその旨を含んで輸田に ・ 安田はその旨を含んで輸田に ・ 安田はその旨を含んで輸田に ・ 安田はその旨を含んで輸田に 金網潰滅

条聯合審議會 る。何分重要政策のここで あるから技術的見地のみか ら論するのは危険で農村勞 動者の精神的影響も考慮す できだ、斯(て同問題の今 でなければ非常に困難であり、以外に耐策がないで鑑すのというである。

陸軍當局

七五三一十月 ◆ 月月月月月 上限限限限限限

物术

藏相池田氏の 留任を希望 様である

問題さなし、目下研究を行つ問題さなつてゐる米穀蔵段問問題さなつてゐる米穀蔵段問

意向を表明 減段反對の

希望してきり、近く黒田次官も開催が出ばり、近く黒田次官を問はず一郎池田氏の宿任を機役の日銀参奥後任問題に帰 (東京一日發賣聯) 池田氏醇 して動音させる悟である

谷府縣に愈よ

電回を表明の方針であるま 電回を表明の方針であるま 電回を表明の方針であるま 電回を表明の方針であるま 電回を表明し今後研究の結果を を萎縮し解棄度別を減ずる時 電局は非金式に減段反射の意 で表明し今後研究の結果を を認可を表明の方針であるま

神兵隊資 第三回 第二回 第一回 ▲上海日

事件一段落 ▲上海倫敦向 東值 一志三片三分 東值 一志三片三分 東值 一志三片三分 東值 三の形容分三 本大連金鈔票

111至20日

二一十二十月 月月月月月 限限服服 二盆 ミスピステラウルシステムのカラカのカラ

新京日日新聞社

洋 柳 田

目丁三町柴水

食●和

二條時

へぬ美味をお試し下さいの折又御乗客の折には是非一 複価に味の折又御乗客の折には是非一 複価に味

ホール食堂では

本向

二月限限 7限 戸豆粕

右ノ外肝細ハ本校二郎+承合スヘシ

和京實業補習學校

試験31日及場所・十月二十二日(日)本校パニテザラ願客締切十月二十日(用紙本校ニアリ)を イプライター講習生募集 電話 弘衆 二〇二二十二日(日)本校パニテザラ

申込は二十九名様名即引受け致します 新しく生れた皆様のホー 御食事が召されます問御宴官の師 樂軒

ॉ官衙購買部御用品 下宿屋組合御指定 安良優証保質精粉味調級

I

造製

でご日檢査を行った上購貨をあいてるな家町小県検新をあいてるな家町小県検新

天富士町三丁目なフェー折

女給の家出

出品申込期

主

新京日日

から椅子をながめて居たのつさめた関係上隣りの部屋

年前九時から男見はハンド

のた結果。明年度鎌草に対上の際間令部さ打合せをなす認め

命泉姐婦助役

海軍導校設立の運びさな

東八條通の

煖房器具展

覽

會

子佐美 正安 是 通

菊川路太郎

H

花柳喜代于

得制:

日本發聲映畵社作製

もの云わぬ花

祝町西本願寺境

内

三日間

大ら貴重の一票 左しく放棄 大ら貴重の一票 左しく放棄 一門 左しく放棄

まあ大体の見當丈け

さも懸命の練習を確けてゐる。本年名選手競つて聊を爭ふ。本年

北職交渉と

室町小學校

增築竣工

裏に引火したものである 場際五十分が大きから出火 し、瓦耳四十坪一戸を半続し同 等時五十分が大きから出火 し、瓦耳四十坪一戸を半続し同 等時五十分が大きから出火

ソ聯新聞

等。保安、参務さ十年許りのた所で未だ坐つて居るな

条校さも三十名程の選手集り その日季町小學校々庭で前記

この繋が漸く高まつて來た。 や領王軍政部大長はハルピン 中旬王軍政部大長はハルピン に赴き敷地其他に関し江防機

並に海軍學校等を設置すべし

行には、一旦をはいる。

命研京銀事務所旅客係 泉頭師助役 小野 虎蛙

新京藏道事務所貨物係

植木

て經

物化

實の

驗發

供優し秀

旦

石長野ポックスに入つたが 観出ブレートを踏み、早大の形 (二死編奏) で奉行さ

裝置

る現狀で之れのみにては國防

新京鐵道事務所

所員異動

であり、最も時宜の借しごしを希望者自由の選定を乞ふ際を希望者自由の選定を乞ふ際

除を保有するに過ぎず。しか爾州國では現在僅かに江防艦

教室が輝を行ふさ ・ 二、三日中に生徒の新 ・ 宝に宿査室。 商礼影安置所等

つた既に本肚が右計画を使表 申込みあり、其の盛况を確想 申込みあり、其の盛况を確想

女鳥人イルズ嬢 (東京三日発園通) 七月中旬シベリア經由再度訪問保行計を登設した佛國女流飛行家 で、東京三日発園通) 七月中旬シベリア經由再度訪問保行計 で、東京三日発園通) 七月中旬の水が線は今回その航路を受 更して南方コースをごり来る 三日頃バリを出載し前回同様 印度、支那を経由して山東省

(東京||日殿副祖||立教對早

第二回戦

もめた早立

柏田野球第二回戦は昨日夕間

本語四八二三番

マムラ

デイアー

あつたが二日午後三時二十

日試合を中止した

も同艦隊は大部分等符艦で近

場長の椅子の坐り心地さい の挨拶廻りである、出來れ がもつたこさがある、皆分は昭 かもつたこさがある、皆分は昭 かもつたこさがある、 野 がは がは の を が は も の は も の は の は の に の の に の の に の に の の の に に に の に に に に の に に の に の に に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。

十月三日は桑福洲体育デーに 相響するので新京の各単校さ を行ふこさになってるたが悪 を行ふこさになってるたが悪

滿洲

國海軍學校

五日より三日間税町西本願寺 開者の利益を計るが営来る十

で三十三の死体を収容したが (熊本一日菱図通) 幸運丸道

間に帰還した (横須賀二日登 8通)年前八 (横須賀二日登 8通)年前八

無洲

立教勝つ

1000

死体收容

卅三名の

五十位が行方不明か

明年度豫算で設立

關東廳警官の満洲國入りは

体に順調だ

新任大場警務局長來京談

取りさなるである)

の武動を樹てた新京駐削飛行熱河、北線各地の戦闘に競々

(可認物便郵應三幕)

式後世界に誇る各種の演習

南新京驛

開釋後の成

空の護りや

ふ飛行隊慰靈祭

雨も悲

され、菱刈

語。九一式歌開設、偵察・納庫内に陳到された重帳道 下降の高等飛行を演じ並居るで解末に手に汗を掘るせ、終つてが属十一時から同降自慢の原帰の標明を組ひ同飛行場西北端の標明を組ひにて飛行

機、各種爆弾その他兵器参考 品を発観に供し、参観者「同 は、除員の説明により吾等が 空の護りを詳細参観したが、 をの護りを詳細参観したが、 をの護りを詳細参観したが、 をの護りを詳細参観したが、 をの軽快なる世界一の機能を 競弾して、横線逆轉念上昇、念 陸軍一等軍器 航空兵大尉 宇 航空兵上等兵 航空兵曹長 殉職者氏名

警 內爾公平 宇都宮主一郎 栗原弘之 清水區一 福島正夫 北域拘留局員の

あるが、一方スラブッキー網 が過の措置を暴露せるものさ 看做してみ、」と導へ在哈外 もそれを信じてゐる模様で 破交渉の情報さして、「ソコリ さ一蹴したが、外観新聞は北 後任を任命するは不當なり」 樹を代行するは監禁にして、 瀬人次長が事故ある科曼の事 冬營準備の明は意よ迫り各家

十五日より三日

日間

西本願寺境

内に開催

は左の如き

(電話IIIIIOO番)係まで申 (電話IIIIIOO番)係まで申

下手配中である
「下手配中である」

撮影技術監督

脚色

幸運丸遭難

日滿聯絡飛行艇

出前

的行為である』さ断じ、又他 精核局員の日補用値への忠動 情核局員の日補用値への忠動 の破棄及北線奪取の目的を 春歌なるこさは哈市医住者に事件は凡て大横淵州順代表の 例なき行動」を題し、「今回の新聞は、「大橋満洲全権の前 店に飲き『ルーディ局長任命の後任は副島長が認めざる後 任につき臨めず』 ご頑張つて 又強洲側の汽車科次長は科 の目的であるさ指摘してる より焚附の容易、清潔等各種というが、燃料の節的はもことに於て如何なる煖房具を輸 留意すべき事柄である。此處満洲に於ては各家庭共に最も に約年識を煖房収着に俟つ我 類の器具良否によつて其の優 具製作販費所者の希望により に於て本社は讀者諸賢及提房

体育研究會

五日室町校で

t 一同正午盛會理に散會した 行除への力强き信頼を拘まつ で炸烈する爆弾の体がに各飛 前員は未記罷免せるにあらむ と、満洲國神副島登は「拘留 と、満洲國神副島登は「拘留 を持ち、 の流が関の評価は要更する能はずご撃明するき間時に北鐵の場人機関に最佳拘留の實行の個人機関に最佳拘留の實行の個人機関に最佳拘留の實行を動き、新る挑。 釋放を要求

並会務を帶びて放行する個人の連絡客で駐線で運賃の割引の連絡客で駐線で運賃の割引 援房具展覽會 滿鐵同樣 割引き

京圖四洮兩線

特条選都計畫完成の饒は新京中央停車場さして調節大新京中央停車場さして調節大新京中央停車場さして調節大新京中央停車場さして調節大新京中央停車場さして調節大新京中央停車場でして調節大新京中央市工名、降車五名二日は乗降車

河へ劉某を紹介した王某を召 人劉某から受取つたもので、 が自棚車質却代金さして支那大活動を剝けて居るが有紙幣大活動を剝けて居るが有紙幣 面から入り込んだ形跡あり。

響に取押へ方の手配があつた跡があるため奉天暑から新京 谷本ウメ(1十)(仮名は去る)(1 雌最近斬京に潜伏してゐる形十日無断家出し行方不明中の 1、三季五割引、國線11、三 生は三等に限る)は社線 製品警察官に對しては所定制 引起さ引替に左の如く漢貸の

大々的に製造されたものさは専門的技術者の手に依つ

知識眼科院

五味。黒田、佐藤

東京中央牧送局編

五、五〇四里

朝鮮

H

何程來上

新築近く落成

極力取調中である

る精巧価まるものでい 銀で艦定を受けたさ桐して

枚は大河某が

で十月十五日昭新警院に移籍したの

五十錢紙幣 精巧な贋造鮮銀 **、軍人。軍局及警察官は各** 大連へ流 廣東省立銀

はに開業中であった大和洞六 地に開業中の知識吉彦氏はか でして三笠町四丁目二十六番

部、黒田賀、佐藤宇治太郎の 三氏は三日相解後して木吐来 訪、それん、常選の挨拶を述

(議開語) 書師高言鑑達 (日本語) 書師植公金枝 (日本語) 書師植公金枝 (日本語) 書師植公金枝 七十二〇〇 演练(講)

マフテレフテル

田吟味堂

る八月一日から十五日迄の間 (行金庫係楊必選(三三))は去東京二日韓國通) 炭東省立 金一十萬八千三百九十一 帶日本へ逃走 一十余萬圓を拐

込む

元を拐帶逃走行衛不明さなつ

から二日警視聴に取押へ方をあるこの情報に接し飼地警察のある。 幣各署並に全國警察に手配 役類して來た。警視廳ではから二日警視廳に取押へ方

は一萬元の懸賞金を贈呈する

主演のJ〇式オールトーキー大調行で観察的名籍早川季洲 大調行で観察的名籍早川季洲 3の美はしい権化である此環 唱歌忘るべからざる楠公父子 「楠公父子」を上掛する。

忽混沌たる現世に動して

云はぬ花ならびにサウンド 流へ 五。四〇 五、五〇 H. EO

專 _ **春** 浩 美 久 東京中央が

門 東京後八、三〇時報報の東京中央放送局編輯を取り、四五・ユースを乗り、四五・ユースを乗りを受けている。 五、〇〇 演奏(流) 五、〇〇子供の時間 五、〇〇子供の時間 五、〇〇子供の時間

焼 そ ばう

名優早川雪洲主演の *!*-楠公父子

新京後 八。四五、ユコース新京後、八。四五、ユコース

太秦韓聲映畵社第一回作品

々含む)の誤りにつきいづれ所であるは各所(各頭店なき 納者一人もなし、また各派出二票の誤りで新興浦城には帰 また各派出

貸家 四十四 姓名在社

九,00 萬

三拍子揃った電氣寫眞館で!!

安くてー 美しいー

吉野町二丁目(甘果太郎黃)

双美寫眞

御寫眞なら

五〇八水

を持みに應じ料理は何んでも出事分かいつもりでありました。 神好ないつもりであります。 神野ないつもりであります。 神野ないつもりであります。 神野ないでありません。 神野ないでありません。 神野ないでありません。 神野ないでありません。 神野ないでありません。 神野ないでありません。 一、流洲崎も生れて二歳になりまして一、元祗園さして水く世話になりまして今年お客様の御望みで一つのお客様の御望みで 即知らせの食め即試食の

方に記念品を最します二日より八日まで(一週間)

お知らせ

高きやき

◇一品料理に

良い酒が

御來客様に粗品進呈 どうぞ一度お試し下さ 安く飲めます 月 電話二九七三番 角目丁三町祝

見より 光榮に輝く國寳的大名篇

太秦發聲 督作…… 池渡 映 畵、文部 富 總指揮…… 池永浩久省推薦,各學校御後援

賜臺覽 名優 早川雪洲 主演

の榮光あり敢へて同胞八千萬の前に捧ぐ此の父を見よ此の子を見よ!東海日出づる 複熊 エッチデ イアー博士 藏 所此 健十八 健十四 健十二 人人生人 開

サウンドビクトリアル

ゲンベツク

既に否やはございませんと

の楽して人の特定ひになつても可 て、もう歌人のよどの女だ。 傾眠

可模つからお購ひ申しやせんでし

をよく

ていかさま英雄もありますな。で

非常に樂觀してゐる唐犬の言葉

かね

『五人ぢやアだなかアありません

送りが賑やかなら、電人の身親ひ

二部ひは船しくつても、

十月十二日 十月十四日

+

が三浦屋さん。

剛心配は無理もねえ事だ。 聞くと事もなけに答へた。

が、仲之町の開催へ一々挟物をす

別手楽屋を始め、

を出る時は、 席に就いて置ひます。

別館に乗つ て対定

電話 二七八四番

ヤベンフーリストビューを領産治療主要各種及各地の

御料理

月

全滿酒造

界ノ

代表

値段は大勉强致します 多量着荷致して居ります

御下命を……祝町ラー

清優酒等

正宗

切符發賣所

それから解

割った様な魚の底犬は、こ

して、喧嘩支殿で

送る。それから大門で手を打つて

お別れといふ殴取りです」

和京川県所電灯二二十六番 東川県所電野四〇人九番 東川県所電野四〇人九番 東川県所電野四〇人九番 東川県所電野四〇人九番 東川県所電野四〇人九番

中點中最高優等曾

特價一

→ (瓶代共)

質宜傳ノタメ特定 **御晚酌二御宴會**

買致シマス

偏二御願と

米ら酒

西

新京富士町二丁目

新

着

一チ養えと

り二回まで

各

好

形心のなに、悪ひの若い者は歌つ

に対して

せば挫折あり又病厄に注意

大志を貫かんさ

りを過ぎて悪化する兆住歌

運氣住なれご盛

(五十五) 機器の配際(H) 財務の方は、公用人の相別さんにはもお知らせしたやらに、背山の はいと道つて来ました。就て の唐犬を訴れた。 複銀分を大流の引配ひも映 つて来ない所を見ると、何か殿のフタリ隣つて了ひ、其後何とも それでねえと他を始め死んだ親分

こと思ひます。四谷大番町の白棚の方に、考へがあるんぢやない をして後、三浦屋中の者へ祝養をの事主を呼び、既に着かせて挨拶 は第てお送りの仕着せに、金一村料料外の放大へ出入りの密擦らずへ 家の騒だ。何らか其後りで覧しく たせる。其時大党が某人姿になつ ひをさせたとあつては、機関院 際にも係はる事だ。唐大が花堂 引き物を持たせて一同を立

見分表の迎ひも、 少し早日にお客

気なして情報

飛れば損害身に及ばん なる日叉病盗職注意 如何に氣力を住

が うすりい丸 十月 五日 いかる丸 十月 五日 が同一、神戸(大阪)行

Xしあさる

称京梅ヶ枝町二丁目〇一

香部廠

類各種

豐

富

亞米利加丸

| 大阪商船出帆 揮して大成功を來たすべし四線の人 智謀を充分に發 均整を得て幸運を辿る吉日 勇気挫けて立つ 植力さ金力さ 理

番

F

内科 福島隆院 神經科 電話二九五八番 神經科 電話二九五八番

して事業半ばに瓦解すべし一日の人 互に主義を主張 佛癸水诚卯曜

70.10

通三 朝電 事四 領八 日話 舘四

目科業營

北施設工木 測監製請建

新新室町二丁目九番地 和

國政府指定請負人

店主

司

御

料

理

曾我廼家

會

和洋のよい 多 御川

料理 小鉢物

關機防豫害損

秘密探

新京老松町十一

新京興

信所

電話三三五〇番

緣談先身元調查

全國各地聯絡 料 金 低 廠

引先信用

調查

電話四七九〇番 古村元七郎

襖專門

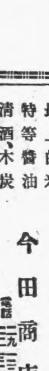
梅ケ枝町四丁目十四番地

サービス萬点リ ル美給り

To

最上電! 小水各種 堂



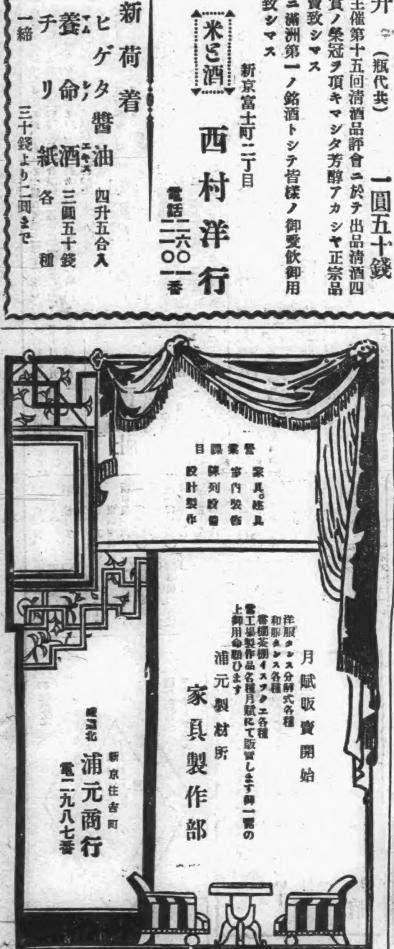


三笠町二丁目

健康の要素の 田商話店

清 等 卷 出 白 米





滿鐵間意見

IJ

I

対決定した。右に政会軍部で を其の希案通り補銀でも共同 を其の希案通り補銀でも共同 も其の希案通り補銀でも共同 を主動の投資を目的です を主動の指数でも共同 氏は朱連以來滿轍山崎理事で海外發展協會代表ドリヴィエ (大連三日 競戯通) フランス ある

氏は語る 國大學教授鈴木醇氏は

が私は地質學が専攻な新京。ハルビン包行き のい丸」で来連 なのます

十年八唱和

電報料

高過ぎる

會

拓務省近く改訂を提議せん

げ運動奏効す

に來滿

十日 ベルビンに

定であるが警京後の行動は左 三十分「ハト」號で來京の豫 三十分「ハト」號で來京の豫

吉林に向ひ一泊 初京概象

ヘルピンに向ひ! [日間

地質皆石を明査したいさ思地質皆石を明査したいさ思

内地過剩米捌け口を

學科左の如し

海外市場に求む

米穀部長通商局長と協議

さ大好で叫び係員も観念も朗った好で叫び係員も観念も朗った好で叫び係員も観念も朗

貴族院視察團

七の日の

苗代時期に於る天候概して間加を示す。蓋心本年の稻作は

加を示す。蓋じ本年の稻作は百九十六石(八分八里)の帰

蒙古人留日學生

記の何き收穫を観るべき嫌悪 別の減少したるにも拘らず前 候も概して適暇にして作付段成育速能せられ馬後に終る気 ありたるも其の地方では間の に進み移植後は気温高く早天間なりしを以て苗の成育良好 持種せる営一部地方では早害

特来蒙古文化啓帰指導者たる 青年十名が文明先進級たる著 青年十名が文明先進級たる著 中年新京出種赴日の途に 東る十日新京出種赴日の途に 東る十日新京出種赴日の途に が、電事生の が、電事生の

滯滿日程

北大鈴木教授

拓務省の認可を得て 企業會社設置せん

十一日 帰京即日奉天に向ひ。 中一日 帰京即日奉天に向ひ。

るので歯峠日を要する母様で磷酸では指移者の鶴可を要す 陸軍では

では一ケ月後の今日早くも之が改正の妥當なるを認め拓務省では遞信當局と折衝のされたが、總括的に見て高過ぎるので其後一般需用者の非難續出し拓務、遞信兩省(東京三日發國通)日滿兩國間の電報科金は過日滿洲電信電話會肚設立に伴ひ改正

協定改訂を滿洲國政府に提唱し極力需用者の望に副ふやう努力す

ことになつだ 上近く日滿通信

國防上の目 陸州 で反對意見開陳 **ル地から**

必要のこまであり。

究調査せしめてるるので右

日印當業者代表

されたタンプリース。倉田所業者の最初の會見さして注目 會見日延 結果に基金荒木陸相は近く

依れば棉麥僧駅の賃支那産小命設大學農業經濟部の最設に は米業工會の申請に基含兩吊両元に遠した爲め同地商務會 麥下落に依る損害は七億八千

氏の會見は二日の豫定であつ

归

印度側晩くも五日

一定数量自主的輸出総合集に和七年庫輸出量を基礎さするの提闡せる日本綿布の從價額

すべき

印度側の提案

日の猶餘を求めたが、本案に関し印度代表は即答を避け敷

實行上困難

定であつて、晩くも五日のするのは三日若くは四日の

雷制(クオーター科)に飲い
・ のシムラ三日麓戦通特職)印

て非當業者は左の見解であ

宮の課税方につき清願した

れるに至

るものさし其の取録ひ

浦潮港の强制水先問題

ムラ日印書前に於て摩田代表 (東京三)日後出通〕 卅日のシ

程告があつた

綿布を覆るのも商者だか して困様で印棉を買ふの 新

澤田代表

の提案に

日

順銀に會合し、西原借款中の ・ 会観の三銀行代表は二8午後 ・ 会観の三銀行代表は二8午後 ・ の特殊銀行圏たる異銀、鮮銀

利益配常を擔保さし職保するの情果、繊細國が所有する日類略信電話會社の株券の

就る外ないき観られてゐる が、金礦情数も同様の態度を は、金礦情数も同様の態度を

日

京

満洲國の所有株配當を充當

融通銀行團から折衝せん

部擔保

棉麥借数に依

一致するに至らね状態で其の の、 無林、 拓摂所 油の響見も の、 無林、 拓摂所 油の響見も の、 無林、 拓摂所 油の響見も

米作減段案各方面に異論あり 一使用 するに就てを有して居り米級減敗に對して居り米級減敗に對し

り来つた増産計費を放棄する の成行に関し変視してゐるが 本問題は従来の歴代政府が執 本問題は従来の歴代政府が執 「東京二日登嶋湖」 農林省機 を本年の米作付段別は三百世 一萬百町三段にして之を順年 作付段別に比すれば、四萬五 作、耕地の改慶調査方法改正作、耕地の改慶調査方法改正 の結果等に依るものも如し、

できた、陸軍さしては関防上の見地から過剰米初さして貯 の見地から過剰米初さして貯 がするが米級アルコールさし の根本に反するものである。 く米が要作ださ云つて 政府ましては米値の最易長低 に観賞を等へるやうでは調算 S 最高基低 ご見て帰めて氣樂郡な態度をつても変も が、大體の歌向は破段案の知るである。 ひないが未だその時期でないないが未だその時期でない。 なき 匙を投けてるる間である

に反し 增收豫想 八分八厘の

新京、圖們江間 一日から 毎日一往復

京、副們江間毎日一往復列車京、副們江間毎日一往復列車京、副們江間毎日一往復列車京、副門江間毎日一往復列車

執るに至り、減段案の前途に

補軍令部出仕 編軍会部出仕 編軍中將 松下 元 編軍中將 松下 元 編軍中將 松下 元 編軍中將 及川古志郎 編軍中將 及川古志郎 編軍中將 及川古志郎 海軍中將 及川古志郎 海軍中將 在聽三郎 海軍中將 在聽三郎 海軍中將 在聽三郎

の輪に立つやの輪に立つや

寒さを忘れて大喜びに見入つ○○韓の慰霊宗を無事終了し○○韓の慰霊宗を無事終了したが、其後兵器の顧覧や爆撃をが、其後兵器の顧覧や爆撃をが、其後兵器の問題宗を無事終了し

つさへあれば支那の百や二

通前局長を訪問。過剩內處米 部長は昨日午後大時來橋外局 別け口の含め両外市場開拓に 要辞録さなるであらう 要辞録さなるであらう 要辞録さなあるが務果は資津、福 書な巻さの間に定別航路が崩 始される機は、日埔連絡の重 要辞録さなるであらう

「東京三日藤國通」練習艦隊 異動は三日 左の如く決定制表 された **熱軍中將** - 寺島 - 佐 監禁中の將校團 革命軍ミ

十名線であるが、民留米人] に遂した、南軍の死傷者は二 交戦は年前八時に到り最高潮 (ハパナ二日 静國地) 革命軍 を東中し猛烈な反撃を加へ たデスペデス派の脉校 側五百 をは、1日電に革命軍 3 戦艦を をは、1日電に革命軍 3 戦艦を 一あれだよ、畝の上やつまでは、一あれだよ、畝の上やつまでは、一路検説明してでは要する音響が連續的に聞いえる。一路検説明してでは要する音響が連續的に聞いる。一路検説明している。一路検説明している。一路検説明している。一路検説明している。一路検説明している。

い』〇〇機が垂直に直下した 簡単にやられては堀まるんわ

質問機関銃の音がパラペラト

事が終むさあばよ

名は段害された 爆撃演習の りて来た時は「わしがやられ

新京駐剳繭東軍飛行第十二〇 総は既報の通り戦光者慰妊系 は、「理事等を行つたが式後 では、「理事等を行ったが式後 では、「理事等を行ったが式後 除長の挨拶、来賓を代表して行鍋の饗覧があつたが、佐籐 あり同氏の音頭で飛行事十二四月郷軍場合分會長の謝群が

能い吃りの為、口で歌思を もん。一番心配したのは常 せん。一番心配したのは常 でしたものさは考へられま 会との事件では衛生研究所 を表ので能く即順申上沙皮 い出來れば誠さも何ひ皮い で思って居ます

七名年前六時街京着

▲刑士廉氏、(古長地區響態的

令) 午前九時奉天へ

自力特撃天へ

▲京坡公立農業學校生建七十

一秋山中佐(第四課長)平崎七

官に悪心膣を與へてるないで云よ常識的な解釋から係る云よ常識的な解釋から係 件が落着するまで滞在した松知りません。大連には事 然知りません。大連には事云ふ人も奇柳で云ふ人も

天氣と氣 溫

三日の氣温最高十一度八級低一大度二、四日の天氣偏東の風

別ノ関係上昭和八年十月十五別ノ関係上昭和八年十月十五 昭和八年九月二十七日 昭和八年九月二十七日

生花講習

根本氏が來京

より、日本固有の範遺を満の

刊致します 一四日は仲秋節につき淅洲人職工慰安 四日は臨時休利

居なかつたらしい

渡蒲以來各方面の義烈に忙裂されて居る杉村陽太郎条使は 三18年前十一時よを配着側を 大使職に招待時余に亘り最級 したが質問に對し面白可笑し 杉村公使朗かに語る

「東京三日登園通」ソヴィエート政府は去る八日廿六日空 (東京三日登園通」ソヴィエート政府は去る八日廿六日空 (東京三日登園前に は水先案内を強制的に を、元素浦湖港は水先案内を 必至する程紹前の出入頻繁で をくい及野園の北海河船。朝 なくい及野園の北海河船。朝 であるか、今回の規則に彼 のであるか、今回の規則に彼

の除外候を吹くることの抗

けたもので見られる。

なる食法でしまでえるから つ態性を移で上級の省合 に表外数形のの近情に自

財動に特に強制的の水先制度 事代額に明令を發し、水先案 事代額に明令を發し、水先案 者しそれが出来なば我國の定 着しそれが出来なば我國の定

ソ場側は離色を示して、 一世に変

公司があつた。有は確

不承認連中は 今に後悔する 満洲國の將來は樂しみだ

* 四十六百八千三

主に慰慮

下

類 お常に景色がよく飛む機も は まるで 玉突蹇の上をすべつ は まるで 玉突蹇の上をすべつ では呂市長に會つたが、 め では呂市長に會つたが、 め を異へられた一人です年は を異へられた一人です年は

リースでは、 現代問題が大分喰されて馬ますが、 現代問題の経 は なに就ては僕もよく知られのですが、 鬼に角アメリ カ人はロシアがお好きらし いですな、 さいよのはアメリ

大学 は 後悔するに 建ひない 大学 動産の 東にすぐ共鳴して丁ふらしい 調州 記も既に 基礎が 固まって来て行来が 製しみです 丁度 雰囲で 承認の 票決が けばれた 時、大体三分ノニは はれた 時、大体三分ノニは 大学 動産の 東向らしかった 機ですが、 強硬に 不承認で 学校った 連中も、一二二年も すれば 後悔するに 建ひない 先生達も日本が不承認で 駅 を脱退仕様等 さは 考へて

をかい、同地には三四日滞在の いたやうなものですからわ いたやうなものですからわ いたやうなものですからわ

十人に决定す ○贈の萬歳を唱和飲食した

造されるこさでなった

菱刈全権が 發聲映寫機贈呈

世間をなり、 は来る十二日午前九時四十五 分茶京、直ちに流の産花寿利 用生花泉資を地方事物中主催 の下に開催するこさになった が中的二時間は輸道一般進 を花卉を材料さして生け方の 変花卉を材料さして生け方の

交命を通じて 海執政に最終 菱刈全槽大使は去る廿六日外

安恢復。産業展典"議州風物"。 にフォックス作製の議州政治 映寫機を贈呈したが、近く更 温散器を到着次原贈量する。 駒井土地主任

一部のため本社 *訪

徳川、杉村兩公使

を官邸に招守し晩餐會を雇し を官邸に招守し晩餐會を雇し

が晩餐會

深町博士 式開築 前に正

垂直して上昇するさ、見物の大神で、糠陸さ同時に機律を

見玉博士の

實兄從弟來連

中から力んだ緊

衛の所氏は事件の程に驚いての實兄兒玉真造、従弟兒玉彦 教室に動物したが十一年八月同大學助手さなり司法新潟部 でいよ
一八島等八九に深

きうもさんだ事をして見れ

色を浮べて語る

船中に訪へば蒼白な顔に心痛 入日長野を立つて來ました 知つたのは世六日夕刻で仕 知つたのは世六日夕刻で仕 知つたのは世六日夕刻で仕 警さしてから、こう管察及び民政部警務司に堀託警察の構成である目下新京県 警博の単位を得た。のも大學 留夢してその指昭和二年六月 管さして動務してゐる 事往來

日九大響乐部を卒業、直ちに氏は一髙を続てして正式に豪鸞した。皆院さして正式に豪鸞した。

N

明

内の雜沓、(下) 食卓を飾

り維修で下)食卓を飾るよ仲秋節の賑ひ、(上)城

てゐるのがその月餅である鬼

る市中赤紙や銀紙の看板に

仲秋節の美味珍香

腊に過すのを集みにしる

-

1

*

映上別特

劇代現

もの云わぬ花

日本發聲映畵社作製

サウンドビクトリアル

ハーゲンベツ

왫

はその日を飲。

(B

樓

水

轉さき決定

果公園内に引越し

B

であれてあるが、すまにペス 別さしてルンペンの收容に常 別さしてルンペンの收容に常

ペスト下火

相看の定員は犬体變りなく三 十九名である

方面の第三回ペスト防疫目

に興安總署行下鄭家屯。開台

八を收容

疫員さ共に再び州登した。更中の農安防疫班長炭木彦吉氏

名を洮南に、交病氣の爲時京

ので二日は東北防疫所長外一

聞

□ 2000年 | 一 に続いた地 | 一 の場合を考慮してこれ | 方事務所で

實現

されること

は数回に且つて調査北を派遣をさからした日崩衛生高船でをさからした日崩衛生高船で

通常に切倒はしてゆける人を ひ納長に関びたいき思ふ。

の見追からいつて

しき新京の動向を祭知して

人格職見さるに秀でた人で

議長は誰と 各方面の意嚮を聽く ?

ぐる一般市民の動向を知るべく、まづ各方所人士の話に聴くし適任者はあるかごうか。またこれさ思ふ適任者はあるかごうか、來る正翻鎖是選早をされは吾等市民の總蔵によつて設正公平に決せられなければならぬ問題だ。 果してそのご地方委員選集の後に來るもの……それは調長。 副請長選季だ。 一体鞴 長に誰がなる? 寒心に堪へないこさで、地方

新顔でよい 八格識見 の方

て全く最初のそれであり、最来る職長選罪は國都新京さし 一誰方 新京高女校長 ものを思ふ して見たり、女母校の傍で は實にこれがためであった、 は實にこれがためであった。 江部開易氏談 衛生に理解のある人に願ひた ひ一名位は教育者中からも立 今度の地方委員選撃にぜ

それで議長には一体

重要な意義ある

一相撲一 空間に教育 を取らすな

ては可けない、自分は生徒にもない、何事も歴史を無視し に理解のある人でなければな ふのみでは可けない、御長春 長さして地だ新らしい人ごい もよくいるここだが 第二には地方委員會議 自分は生徒に

目に

その観にはその観の歴史があ 歴史があり

人さいつても変長春以来住んであらう! 賞長春に理解ある でるた人でなければならぬ いふ理由はちつさるない。質 副議長の方が

ム、そうして関があつて真。 通じた者であつて欲しいさ思 があるであるでない、そうし にしても人格のある公正の人 きゅうへてゐないが、いづれ 伊東正夫氏談

びからるこさのないやうに見 つて欲しい、そうして今後再 下弟のためにも充分側注意あ

もお願ひしたいもので

委員さしてもこうした際には

く引受けては呉れないだらう けるここは差控へたい、でも窓中の人はあるが置らく申上 いて見れる人がよい自分に 新京一へていて明

は散語なきでそれん〜暗中飛 るわけにはゆかつ、それは市 一個の考へでごうこう决定す けが知らないのかも知れない関があるはずだが今度はまだ

6自分さしては、今度の選挙 ものさ思ふが、全市民に1々 かいて続くわじにはゆかぬか

自忍して今日に來つたのだ、 だけば御発を楽りたい 員中には立派に適任者はあ

可けない、但請及につづく人でしよいこいよ考へは最もない、それで請しなった。 立派

出品申込期日

B

十月

十月十三日十七日祭日二十日

に無りたること前の女に見え に無りたること前の女に見え

新京日日新聞社

てのこさなるべし

四瓜はその国さを月にたさへ

寧ろ重要問題

宮城君なぞ熱もあり立郷観景は鬼もかく顕峨明

る社

風人、かり見るご現在の研委 ・次良校日 の所有者で ・次良校日 さへあれば 新来者でも決して差皮ないさ ない、同時に選挙した有権によづ諮って見なければな

親した。きころに原因はひそん事になっても全くその歴史を無

た者

揃燃

て經

物化

驗發

に明 供優

し秀

ま品

の宴に酌むを桂酉で呼べるなの宴に酌むを桂酉で呼べるより看月

の缺りたるはなく打

を

實 0

額長は翳長の不在の折には

てさして推したいが議職 で適任者さして自分個

のであるものだ。なほ議長で のものであるから自分は議長 なりも削縄長により関心を排 のであるから自分は議長 なりも削縄長により関心を排 **じ間長が信頼して委せる人。** であるから副議長は諸長を助 to the

一つが二日

して雨で

三古より今に及べり、 版東新月餅四瓜の類を人に饒ぐるこ

し、上には香を貼し、幻輿には俗に風月ミ呼び此の夜一脚 の棹を庭上に据へて祭壇さなけ俗に圓月き呼び此の夜一脚

腹東新

供物を置き中がて時至れば家用師。西瓜、酒ごの外種々の

語に

八月藝花水至。有月則是歲

一同祭璽の前に進み、月を拜長出でて一家の年少者を導き

長につづく副議長問題だが副その通り決めやうさ思ふ、語

6の養績をぜひ續いた上で、の関係者によく相談してそれ

回二第

房器具

展覽

會

その由來未だ詳かならざ

應月之数

祝町西本願寺境內

さなにし人は か観測所に訪ねる5 「折角で かれまのさころ曇りさしか たの如く語つた 通して霖雨をみた。残りの熱何の方に二つの低氣壓が

がから、それでは市中一 それでは市中一般は

て三秋さ解す、

八月はこの三

稍下巫山峽

補習學校 夜學開始さる 0

至らないが未だ樂蔵を許されの患者死亡者をも發見するに

新京楠智學校では、十月六日 一 対の独身を楽し、毎単明毎に 一 大の別島の大学のは、1十月六日 一 大の外に支那語電話科及露人に 一 大の外に支那語電話科及露人に 一 大の外に支那語電話科及露人に 一 投げる日語科である、震地は 一 全での諸工作の進展に 本事期も第二事級者して大に 一 仮和を計りたる臨既に受付三 をなし来れるも指金部の本 を取るしての諸工作の進展に 本事期も第二事級者して大に 一 仮和を計りたる臨既に受付三 を取るして大に を取ると、ませは をなる中心に 本事期も第二事級者して大に のかに変形語を語科のからは生せ数異 たる組ある由につき希望者に適する展 をなる。 一 大いの表 一 大いのか。 一 大いの表 一 大いのか。 一 大いのが。 一 一 大いのが。 一 大いのの級にに志膨を

十月六日より

三名も三日出殺した 者八名。助手三名。看護婦十 仲。秋。名。月

豫報は曇り

せよ四日は海暦の八月十五日 ・風流氣のあるものはこの仲 ・風流気のあるものはこの仲 満洲人では正月に次ぐ盛儀

兵士ホー 果して名月の夜の天候は

慰問團から 第

今でも野に原に一額を携へ浮

詩歌に残ってるるまた

い議洲議人は八月節で稱し五かれ出るものも尠くはあるま

じく仲秋の日をめで年中行事は別さしある外。日本人さ同

月の節旬さ続じく商取引の決

られ、甘価も商費も悉く業を

の重要なものに既

んに差し上げましたのでそれ 東の途中観州で小學生さん選 本中飛行隊の方々ご程々例 本中飛行隊の方々ご程々例 人さなつたのは午前九 昭り46した其の中の一人の兵隊さんに手紙さ林檎、中後一時五十分能減屯でも 不禄に乗り換へ十二 20年の く馬ひ出されて、私途の風のさいました真實に今でも懐し 北管子で今までの北際線を口北管子で今までの北際線を口 列車が動いてゐるにも物 ず三四丁も来で下さつて、 人の 3 6 奶 方

四信(九月廿五日)

され田を時を名便口扣 ま版後 ましたが、其の途中夜明方で 九月廿六日午前三時第一〇二 の致しました一数町を軍部の の凱旋されるのを開まで卸送 技が暗を這上間に順何から垂 たを御照介して載きました ましたが、夜明にも明 クで送つて頂いて行き

ても汽車はごをいません。 柳承知の如くことは承徳へ行 後二時四十分科陽等

兵站部の力から側電話で都水して打ち台世を致しまして、 に足を取られるやう。

年の七、八、九月を秋さいふ 仲秋節の ももつてくればだんく 気はよくなるわけですが雄 基沖にある高氣壓がごうも を開造ひのないまころをい も間造ひのないまころをい 北時照白鬼 直松默秋毫

さいひ月金脱戦にも

に分ち與ふ。家族の少き家に

現であるた

然も科亭の最前の

が選

聯

剝芋。 芋有十四種。

以黄色

して叩明す、終れば家長より

四季 それぐ れの眺はあれるの中間に含れるを以て中秋 なる此月十五夜の月ばかり弱き。わけて秋天九十日の眞中 夜月色、倍明于當時、又謂 Ei) 秋倍半、故謂之中秋、此 八月十五日。中秋節、此日 夢樂録に日く 今日に及べり、たで八月十五秋月夕を詠ずるもの多く以て あり、衝泉地方八月十六日を日を中秋節さするに一の異例 力斗皆性院 張弓倚城魄 氣沈全浦暗 福除且日傾 輪側半樓剪

朗なるはなし、

三秋给半。

に代に始まり唐代に盛になり しが鮮かならざれごも英代 しんが 幕たその何の世に始まりしが鮮かならざれごも英代 師。千秋節、月夕、民間一般に 太夫人奉養在部、擬返主政中教、相傳兩宋史彌讓秉政中教、相傳兩宋史彌讓秉政十六日爲 以て中秋さばすこさ梵大庫義

のこの異例も今は巳に改める常智には非らず、されば浙東 れたる異例にして古今通知の れたりさいへり 至則己十六日矣、乃令氏間競波(今の短戦い走に類す **帰賞中秋。重判贈船、至今不**

古人賦詩。則始杜子剪。中秋翫月。不知起何時。

而考

賦詠不著見於世間

嗣乎杜子美。想然也。第以

に柱酒を酌み芋を啖ふな6は 収は家人相集まりて月を祀る 中秋節の夜は雪月を賞し、 特別なるので異質に此の版な 速さで走る。その愉快さは又 致します上に自働車は可蔵の

して、私選の戦争ごつこでし それに閉境の道なのでするの **眞暗間なので、私途は水の中** 不案内土地であるのに未明で ホラルからトラフタまで参 時々種がりかけた

のトラックで兵站部に参りま 智調致しますさ直ぐ飛行隊

賜臺覽

でも気を思り悪収書的なされた皇軍の兵除さん頭の事を思 た皇軍の兵除さん頭の事を思

よ 光榮に輝く國寳的大名篇

太秦發聲 名優 早川雪洲 映 透霞亭 總指揮…… 池永浩久畵、文部省推薦、各學校御後援 富霞保亭

此の父を見よ此の子を見よ!東海日出づ の榮光あり敢へて同胞八千萬の前に捧ぐ 複熊 エッチデ 寅晴 博士 藏 3 所此

錢十八 錢十四 錢十二 人人生人 公

点都出無。中秋魄道月餅而瓜 廣東新治に桂四を て一家の夫婦子女兄弟なご一ては幼者のみならず一家打揃 1

會 个 晝 四日 間 仲 開 秋 節 館 に 付

I A Z Z I Z Z Z 至同 五 時 A 富

暗級がズラリ正装して屋 す。さいつて稀の休

居神

五日より新 同盟の夜を照すこさとなつた。永樂町の町名の町名の 永久に樂しい殿堂さなる事で

も丁度地方委員選舉の真最中に入らんさしたるころ公主讃して、行きつけの某科享

1001 11001

和小質 北原紙店

親単軍町合部の

1

各種印刷を製本印刷機械及材料

鑑さくのひ内地より美給十数念々階上階下のホール投稿方 ラ(永県町一丁日十一番地)は

の元符には降雪ありご信ぜ

秋無月の時は翌年の正月十五 関係的なごいふこさあり、 又民間には「八月十五雲遊月、 正月十五雪打燈」さいびて仲 は 「八月十五雲遊月、 又 い豪華の殿 電カフェーゴンド 水都ならぬ首都新 早に相應し 1. ンドラ 五日開業 カフェ

に仲秋に月舞き時は鬼孕なず して種々の傳説ではれ瑣碎録 べり。新に仲秋の節智は古く風月をなす時は周辺節さん呼

ならぬきは又痛いかな

わる紹介するので

第三十九類 第三十八類に陽第二十九類 第三十八類に陽

招興酒、日本酒、味冰、白酒

第五十三頃 別が

では、おりました。

| カル燃料類

楠公父子上

葡萄酒」シャン

第五十四類 領土

| 類

東海日出るこころ。此の榮光 主演澤村三兄弟助演ウエスタ 主演澤村三兄弟助演ウエスタ

ンディーベルモフト」

せるら室門装置品

品及他類に屬せるる其の製品 第五十二類 皮革、其の模窟 架、石斛、紙綴具、劉筆削。

展恩、相、卓被、窓掛、敷物等

類河類及其の段置

馬具、革で国・総革「きやつ毛皮、柔革・擬革紙、擬革布

念よ今夜か

並各種の鞄類

和及教身川「ピン」の類の二十六類 被服、手巾、釦

、ピレープッシーカ 「カフス、ボタン」「キリ 「カフス、ボタン」「キリ 「カフス、ボタン」「キリ 「カフス、ボタン」「キリ

油紙。遊紙、弊簡简。最女匣。 一関現・帳簿、水引等 第五十一類 女房具 第、一型、中人工等、倒筆、馬 中華、「ベン」、ベン」、軸、 硯

第六十八類 他類に屬せるる 娘香 注音・嫁香 粉末香

西鄉科

氣絕緣用紙。

商

標

法

0

內容

(九)

具學

卓林县。

附り、

同施行細則

第六十六類 岡識。寫眞及印第六十七類

お其の製品 紙及他類に屬せざ

ーキッグ、パウター」「トー 駅、環根、蜘絲「モヤシ」「ベ 米、麥、栗。奈、株、豆、草、乾 県物、穀粉、澱粉及其の製品 劉類"湯葉"豆腐、豆乳、蒟蒻スト、パウダー」 変粉、葛粉

東京縣、凍勘期等 東京縣、凍勘期等 東京縣、凍勘期等 東京縣、凍勘期等 東京縣、凍勘期等 東京縣、凍勘期等

ポン」協刷子。 化粧刷子。 埃取刷子等 第六十五條 「玩具及運動遊戲 第六十五條 「玩具及運動遊戲

ボ、髪掛、「リボン」製飾「リボン」 歯刷子、 化粧刷子、 化粧刷子、 化粧刷子、 化粧刷子、 製飾「リボン」製飾「リボン」 製飾「リボン」 大手、髪

海の外から

四二千七白年前の様樹 一が砂鋼され目下県界の珍質 さされてるるが、手笛の結果 数生したのでベルリン朝り植 砂園で栽培するこさしなった ロ乙女が馴練するごさしなった ロ乙女が馴練する電点学 ニューターランドの機派では 乗車用学を飼育訓練する電点学 には十九大歳の可憐な乙女と

(::

聞

第四十二類 砂糖皮蜜の類 酢の類 点の種「ザラメ」氷

標木眞田等

マー・エレクトリフク録音を凌ぐ マー・エレクトリフク録音を凌ぐ 女子」はいよく今四日から 長春座で上映する添へものに 日本映画社特作「もの云はね でしならびにサウンドピクト リアルのハーゲッペフクサー カス関の樂屋風景がある。こ の組合せで大阪松竹座で四週 間も翻映したこいが有名な映 間も翻映したこいが有名な映 間も翻映したこいが有名な映 はどろひである。 補金父子の の出合せで大阪松竹座で四週

第四十六類 欧乳、其の製品 登物、甘酒、漬物、胡椒等 取苦、昆布、荒布、佃煮、味噌、肉類、 越緩斯類。 卵。 鰹節 牛乳・羊乳・コ 其の特造品の特造品の類変 及加味 仙額に届せるる 第五十九類 骨、角、歯牙及甲殻の類、他類に屬せさる「エボナイト」
類に屬せさる「エボナイト」
製品及「ガタベルチャ」の製品及「ガタベルチャ」の製品及「ガタベルチャ」の製品を「セルロイド」
及他類に屬せさる其の製品で「セルロイド」
を表示する其の製品で、単の製品である。

念"注念"、杖"鞍"下队"草股" 第六十二類 燈器及其の各部洋漿"燭臺"。楊燈"、火星、燈蓋 第六十二類 扇子及側扇の類 第六十一類 の耐腸油 ル」燭心等 傘、杖、冠物及其

(梗账)

ク」乳粉、「バタ」人音「バ

「コンデンスミ

麥科、魚衣、遊、席、笠、編、麥

金田道

發菜類、種子

造花並刷 の……」の唱歌がむせぶ様なメロディで響いて來る—— 時 がな守ろ新田義助の軍勢は九州から都をさして攻め上る逆 脱足利直義の寒霞の如き大軍

第六十四類

商品、

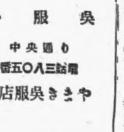
及「リボン」の類い

甲さ丁さ変が吉

○三碧の人 人を信息

本主奏さ演が吉 ・ 大白の人 時に楽ぜ ・ 大白の人 勝に楽ぜ ・ 大白の人 勝に楽ぜ ・ 大白の人 勝に楽ぜ ・ 大白の人 勝に楽ぜ ・ 大白の人 陸ある ・ 大白の人 と変が吉 ・ 大白の人 と変が吉 ・ 大白の人 と変が吉

●九紫の人 小さ すれば手術に重 力すれば名利



香五〇八三點電 へ店服吳きまや

●一白の人 平温なれ ・ 日本限り時期かざま ・ 長さ巳さ未が吉 ・ 一二黒の人 意氣衝撃

お事あり

日五十月八四

會場は長春座

第四十類 氷及清凉飲料類

所有十六類 肥料 (機) 以酸肥料、四合肥料。 硫酸安砂尼亞等

新京洋書

整流標。周波以及換模。在信 機。重結機。經歷器。 電氣明器 概統器。直然器。 電氣果療器。 電鈴、真空球、電氣果療器。 電鈴、真空球、電氣果療器。 綠印板。電氣網線用布。電 電氣區械具用炭素。電氣網 被覆照線。電氣網線用碍子

町七十類 他類に属せるる西 襲製品、駐気総縁用混和物

口曲樂配

て洋街展覧音を開き即費をも 明日のはれる新泉高等女権校 の十週年配念音書日同校に終 の十週年配念音書日同校に終 名作家ジョン、ネフ・ ーンの出生家屋は博りつた。 因に此の名作。 のコヴェント公園 急に備へるこさとし を附けた水兵が乗り 英海軍では艦上機が □英海軍の紋命艇 ロペーンの湯が頭 る時間逐艦は随航

がよろし お尼注意 に行はる すべき日 り上へし 無き破選



妹

車

≅光

Ξ

多少

二不拘御用命願上候

大

株代

行

株

のオル

のピアノ

o吹奏樂器

Oシャースードラームセット外 諸樂器

Oノビリーボンー電氣蓄音器マイクロホン

t

3

律正確

色優麗

定

價

醫家用

~ 角函入

家庭用

へ 小雄ス ・ 小雄ス ・

偽物あり久本茂に御注意乞ふ

H

大阪市港區市岡警察前一

九九〇五茂

肥料

0

發製賣造元

說明書送(原節祭

Ħ

營業時間

オルガン

a min

.

(カタログ進星)

大阪市新町二丁目

電話新町144-143

田清本店

キズミョク

12 版市

程 村中兄弟 商 秦 品 部 東 區 第

(VAV)

ツーアンカー

三拍子揃った

合理的取

引

織銘

た質営業種

京西米越八野

通信販賣部

會株國

社式織

大阪

本大

三阪商

現

金主

陳列式正札

■練物界の標準相場は不より

●御仕入は先づ皆様の伊吹商店へ

顧客本位



社會式條軍轉自本日大 遺 製 店商米日離 頭頭

町屬德屋古名 横大島堂阪大 密銀京東 - 町本北台 町金養城京 前驛陽福



株式賣買案內贈呈

大株一艘取引員

大阪市北浜一丁目

代表電話本局八〇七番 電信 | 發信…マ 又ハ マツ 略號 | 受信…キタハマ カブ マツヰ



奏式ボ ケ に 治 ツ は

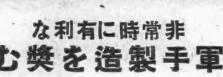
療器 を

ルングライン で手足がしびれ、舌もつれ、半地が高いでき楽です。今までの楽でお困りの方は今直ぐに御を送つて居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送つて居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送って居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送って居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送って居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送って居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送って居られる方の為に本院秘傳の官許中風相馬湯と云を送っている。

大阪市港區市岡元町二丁目(電停祉人効目のある試欒を療法書と共に無代

業 0

第第二一

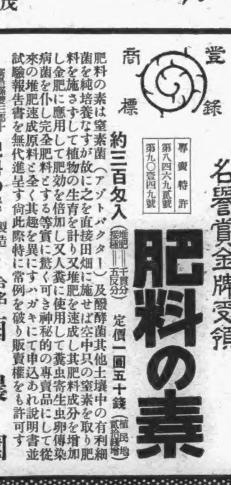


森し計事弊 供た畫屬社 給。を製の 第五 四三









AOの特長

一、治療的應用 一、治療的應用 一、治療的應用 一、治療的應用 一、治療的應用 一、治療的應用 一、治療的應用 AOの應用

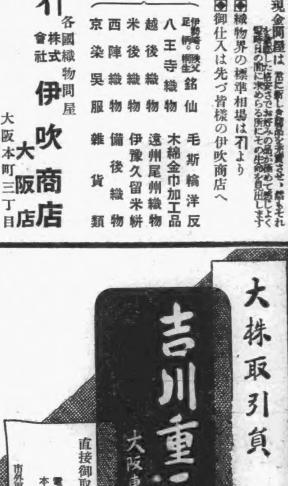
目丁四磺化區東市版大 店商美須 元賣設

危

上呈說解

音家に護告





重三商 直接御取引を希望致します **大阪東區北濱二丁** 本電 局話 二五四四四 四〇四四四 〇六四 七一五三〇 a 一四四 八九四四 九四一 六五

とかけは 義 女 11

ヤ 人婦 ケド あ

|業時間 | 自午前八時 至午後五時| おすゝめします▲ ゲ、ウス毛、 腫物の跡 もかき波 丸ハゲカヅラ 眉。毛

空中室表の利用を界的の大發明

